

俳句を始めたい、俳句初心者の方へのメッセージです

俳句小冊子

言葉は魔法

二〇二一年

五月号（通巻十号）

俳句小冊子『言葉は魔法』

俳句会員募集中

俳句は、5・7・5の17文字を使って、“あなたの思いをあなたの言葉で”伝えることができる表現ツールです。俳句は、教科書に載っていた・・・誰もが一度は目にしたことのある俳句。難しそうとか、よく分からないと思っていませんか。あなたの感じたこと、見つけたこと、その思いを素直に自分の言葉で書き留める、そんな気持ちで文字にできたら素敵ですよね。自分の思いが表現できる“言葉は魔法”です。

あなたの思いや発見を俳句で表現してみませんか。
これから一緒に俳句をやってみませんか。

俳句小冊子『言葉は魔法』俳句会員を募集しています。

俳句小冊子『言葉は魔法』

2021年5月号（通巻10号）目次

◆俳句ノート	1
村松小智子 22句	2
鈴木直子 4句	5
お試し俳句ノート	6
◆俳句を作りましょう	7
俳句の二つの約束	8
季語を探しましょう	8
シービービー	9
◆添削・句評	11
直子	12
お試し添削・句評	13
◆天野健太郎句文集『風景と自由』	19
◆健太郎memories その10	20
◆俳句を送りましょう 投句方法	32
編集部より	32
投句用紙（5句用）	33
投句用紙（10句用）	34
◆無料お試し添削投句用紙	35

俳句ノート

俳句会員の入選句です。

あなたの好きな句、意味が分からない句など、
自分で、◎、○、?等を付けて読んでいくのも楽しいですよ。

村松小智子 俳句ノート

手のひらに初雪うさぎのせてみる

雪うさぎ隣の席は雪だるま

初雪にらくがきするよ「さちこ」とか

雪うさぎ皿に溶けたる赤二つ

一月尽×切時間が背中押す

かじかみてコーヒー豆菓子転がりて

豆乳鍋スライスチーズの蓄は薇ら添えて

母 投げる豆菓子
の距離福は内
怒 っていると笑顔で
言う君福は内

退 屈だなんてぜいたく
鬼は外
退 屈が許せぬ我よ鬼は外

ぶちぶちのハツサク
好みはほろ苦さ
イヨカンにいい顔
していると主言う
イヨカンの収穫
一日五百箱
香りよし愛媛イヨカン
名は「はるみ」

「泣いていい？」弱虫さっちゃん冬一夜

ちっぼけな私の心鬼は外

春寒し平気なふりをしてるだけ

広告をそろえる母に冬日向

皮薄く小粒みかんは母好み

北の窓白梅一輪咲くを見る

母生きる白梅一輪また一輪

(二十二句)

鈴木直子 俳句ノート

春浅しコンビニ Pasta に迷ってる

たこ焼きを両手に提げて春の宵

弥生 尽 予防接種の期限切れ

スキップの踏み込み深く春の園

(四句)

お試し 俳句ノート

◆ 永洞 たつ子さん

雪多しここにも影響温暖化
転ばぬようペンギン歩き凍結路
凍結路骨折患者またひとり
春間近柔らか日差し身を感じ

(四句)

◆ 安良岡 竹うまさん

黄砂とぶスペアマスクをポケットに
春雷をもたらす雲の速き事
人の名を忘れておりし落ち椿
茶畑の径まだ春の浅き色
雲雀ひばり啼く大空高く澄みにけり

(五句)

俳句を作りましょう

◆難しい漢字や、旧仮名使いなど無理に使わない。

「躑躅」は「つつじ」「ツツジ」と書く時代に私達は生きています。この時代の言葉を使う方が自然だと思います。

「含羞草」は「おじぎそう」「オジギソウ」「おじぎ草」。

但し「躑躅」「つつじ含羞草」「おじぎそう燕子花」「かきつばた蒲公英」等を否定する者ではありません。知識として知っておく必要はあります。

5文字・7文字・5文字と、指を折って文字数を数えながら作ってみましょう。テーブルの下に手をかくして指を折って数えるのも楽しいですよ。

俳句を作る時の二つの約束

季語

季語は必須 (季節感があれば無季俳句を容認します)

俳句は季語そのものをよく観察して、特徴を読み取り、五・七・五に読み込む。あるいは、季語を舞台にして、人は、どう動くかを、注意深く見定める。また、季語に、自分の気持ちを伝える。と、きりが無いほどの広がり、心を豊かにしてくれま
す。だから、ご一緒に俳句を作ってみませんか。

五・七・五に読み込む

すらすらと読めるように

五・七・五の文字数が分かるように、指を折りながら文字数を確認するのも有効で、楽しいですよ。

■まず季語を探しましょう

五月です。初夏です。幟を立てて鯉、幟が空を泳ぎ、武者人形をながめ、端午の節句、菖蒲湯に入ります。初燕を見ましたか？ 牡丹が咲く。牡丹の別な呼び方のぼうたんはひらがなで書きます。

「立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花」

立ち居振る舞いの美しさの象徴です。

藤の房が伸びて、躑躅が控えています。花菖蒲はまだでしょうね。桜は葉桜。新樹、若葉、柿若葉、逆に松落ち葉もこの時期に見られます。麦が伸び、麦の穂、麦の秋になり、麦笛、草笛を吹いて麦刈りに移ります。

柏餅で新茶を頂きます。筍は頂きました。蝦蛄も季語です。

四葉のクローバー（しろつめくさ）。幼いころしろつめくさの白い花と茎で花かんむりを作った記憶がある人も多いと思います。うちの孫娘は四つ葉をすぐに見つけます。若い頃は、幸運があふれているんでしょうね。

シービービーと鳴らして遊んだり、引っ張っぱりあって遊んだおおばい。

突然ですが

■シービービーを調べてみました

シービービーは春の季語です。調べてみると、木の葉っぱを丸め、口にくわえて吹く、木の葉笛も、草笛と言うみたいです。

で、堤防や道端の草の中へ、二センチ位の小さなエンドウ豆に似た実をたくさん付けたものがそこら中にあります。それがシービービーの草笛の材料です。カラスノエンドウと言う名だそうです。豆が丸々膨らんでいるものを探して、片側を開いてその豆は捨てます。蔓側を少し切り取り反対側は広げ気味にして口の中へ、切り取った側を唇に含みます。吹くと、シービービーと聞こえます。(ツツゴビーとせ)

何を書いているかというところ、シービービーという笛の作り方です。

方向性が違ってしまったから、ついでに。雀の枕って聞いたことがありますか？ 長さ十センチくらいで、雀の鉄砲ともいうそうです。散策、散歩がてらに雑草のたくましさにも目を向けると楽しいですよ。

麦笛をこちらで吹けばめちらでも 一平

残念ながら、麦笛の作り方、鳴らし方は知りません。麦の茎をストロー代わりにして遊んだことはあります。シービービーは小さいころ仲間と遊んで覚えました。笛舟は多分誰かが作り方を教えてくれたと思うのですが、記憶は定かではありません。

添削・句評

添削の評価基準

- ◎・・・かなり良い句です。
- ・・・良い句です。
- ✓・・・俳句として成り立っています。
ここまですが俳句として完成です。

添削・句評

◆直子さんの句を見ていきましょう。

春浅しコンビニ Pasta 迷ってる

パスタが何を迷う？ 言葉足らず、助詞足らず。

✓・・・春浅しコンビニ Pasta に迷ってる

光らせて応募葉書の桜かな

光沢のある桜の写真ハガキだろうけれど。意味不達。

たこ焼きを両手に提げて春の宵

✓・・・

弥生尽予防接種の期限切れ

〇・・・なにが良いか、意外性が面白い。「弥生尽」説得力のある季語の使い方です。

観覧車ガチャリと開き春の風

俳句は風景を映し出す。もう少し風景を見つめたい。

観覧車開き春風呼び込んで とか

スキップの踏み込み深く春の園

✓
・
・

お試し添削・句評

◆東北盛岡 永洞たつ子さんから届きました。

雪多し冬にも影響温暖化

「雪」と「冬」と季節を表す季語が二つ。これを季重ねといい、一つにしましよう。俳句は十七文字しかないから、もったいないです。

「冬にも」を「ここにも」にすれば、漠然とした風景が、目の前の風景になります。

✓
・
・
雪多しここにも影響温暖化

道路わき温暖影響雪の山

「温暖影響」という言葉が抽象的だから、「私の背丈の」とか、「軒まで届く」といった雪の量を具体的に表現しましょう。

道路わき私の背丈の雪の山

とか

道路わき軒まで届く雪の山

とか

「温暖」を使うなら

道路わき温暖化の雪積みあがる

とか

転ばぬようペンギン歩き凍結路

✓・この三河地方で言う「凍結路」は数時間たてば溶けてしまう。東北地方の「凍結路」とは似ても似つかないですね。「転ばぬようペンギン歩き」は身に付いた歩き方なのでしょう。いいですね。

凍結路骨折患者またひとり

✓・「凍結路」と「骨折患者」。寒い地方では二つがつながるほどの凄さなのでしょう。温暖な三河地方では生まれない句です。

たつ子さんの俳句を見て感心したのが、五・七・五のリズムが揃っていることです。

そして、東北地方ならではの風景を俳句にしている、愛知三河地方からするととても斬新です。

次の投句が楽しみです。

春間近柔らか日差しほっこりと

「柔らか」と「ほっこりと」は似たような表現。「身
に感じ」といった具体的な言葉に変えましょう。

✓ ・ ・ 春間近柔らか日差し身に感じ

お試し添削・句評

◆安楽岡竹うまささんから届きました。

今回投句された安楽岡さんは俳句を始められてまだ間がないそうです。俳句を
作りたいという気持ちを受けて、ここはこうだからこんな言い方、とか具体的に
添削をしていきます。

では一句づつ見ていきましょう。

① 雨上がり春本番となりにつり

「雨上がり」「今雨が上がった」「けり」は詠嘆だからから、この句は、今雨
が上がって「春本番」になったなあ、という意味です。

「雨上がり」と「春本番」の関連がわかりません。

三寒四温、風が吹いたり雨が降ったりして草木の芽吹く季節が春ですが、「春本番」を強調できる具体例が欲しいですね。

②もうすでに桜舞ひ散る頃となる

「もうすでに桜舞ひ散る頃」とあるから、桜を名残惜しむのでしょうか。

「もうすでに」と「舞ひ散る頃」は同じ意味合いです。

□□□□桜舞ひ散る頃となる の上五句をたとえば、
故郷は桜舞ひ散る頃となる とか

③黄砂とぶスペアマスクをポケットに

✓・・・春の季語「黄砂」

④春雷の雲の逃げ足早きかな

「雲の逃げ足」というのは作者の発見でしょうが、詠嘆を表す「早きかな」で締めてしまっています。季語「春雷」はそんなに見惚れる景色ではないはず。驚きの風景です。

✓・・・春雷をもたらす雲の速き事

⑤ 葱坊主似合ふ男でありにけり

この句は、葱坊主が似合う男だったなあ、という意味になり、俳句からはイメージが浮かびません。
葱坊主似合ふ男でありしかな
とすれば身近な年上の男の人が浮かんできます。

⑥ 人の名を忘れることも落ち椿

この句の意味は、普通に名前を「忘れることも」ある。
✓ ・ ・ 人の名を忘れておりし落ち椿

落ち椿を見て思い出す「忘れておりし」懐かしい人

⑦ 花吹雪浴びてベンチに憩ひをり

平凡だけれど俳句的には成立です。

⑧ 春しゅんじゅん 筍をたっぷり入れた飯の色

句として出来ていますが「春筍」を「松茸」に変えても成り立ちます。
季語を変えても句が成り立つことを「季が動く」と言ってよくありません。

◎茶畑の径まだ春の浅き色

✓・・・具体的に「茶畑の径」と示しているから、「春の浅き色」の実感があります。

⑩釣り人と話を交わす桜かな

「釣り人」と「桜かな」がつかない。

⑪雲雀啼く大空青く澄みにけり

赤い色、青い色等濃い色は「澄」んだ色という感覚はありません。「高」いほうが澄んだ表現に合います。

✓・・・雲雀啼く大空高く澄みにけり

⑫山笑ふ木々を見ながら俳キング

「俳キング」、ダジャレは川柳の部類だから誤入力ということ。

季語「山笑ふ」は、山の樹木が濃淡の緑に生え変わり、山全体が一回り大きくなって笑っているような景色。その景色を見ているのに、そこに「木々」が出てくるのは違和感があります。

・竹うまさんの12句を拝見しての寸評・

切れ字「かな、けり、おり」がよく使われていますが、「切れ字」をつかおうと、特に初心者の方は、俳句がうまくなったような気持ちになります。切れ字はあまり使わないほうがいいと思います。

天野健太郎句文集

『風景と自由』



天野健太郎句文集『風景と自由』は、
新泉社から発売中。

2,200円（税込）

Amazon、あるいはお近くの書店でお求めください。

健太郎 memories

俳句と映画と本と食べ物そして・・・その10

池澤夏樹「カデナ」を読んでいる。
今日は一応いい酒（余市）が買ってあるが、さて、
-----2012年06月01日(金)

池澤夏樹「カデナ」（新潮社）226Pまで。ベトナム戦争末期の沖縄で、スパイや脱走兵援助などに携わるさまざまな出自の人々を描いているが、そんな「反戦平和で忙しい」生活感が心地いい。「お椀の中でゆらゆらと雲のように揺れるゆし豆腐」が食べたい。

「愛国心は例えば恋や友情に比べたら劣等な感情ですよ」と、基地の見える丘で、ベトナム空爆情報を母国に伝えるベトナム人が沖縄人に言った。ふたりが出会ったのは戦前のサイパンだった。池澤夏樹『カデナ』

池澤夏樹『カデナ』（新潮社）、読了。おもしろかった。
-----2012年06月02日(土)

『たどたどしく声に出して読む歎異抄』伊藤比呂美（ふねうま舎）読了。救いがない寂寥感ってとこだが、和讃がいい。

高橋源一郎「さよなら、ニッポン」、再開。14章、風景と速度がいきなりエキサイティングである。

やっぱり伊藤比呂美の『とげ抜き新巢鴨地蔵縁起』は傑作だなあ、、、と「さよなら、ニッポン」の引用を読みながら、、、（引用ポイントが全然違うのがまた面白い

穂村弘登場。つっても俺が穂村を読み始めたのも、高橋源一郎

経由であったわけだから、、、

「モード」というものは、「おおもと」にあるものだから――高橋源一郎「さよなら、ニッポン」18

東京FMはどんな女が喋ろうと、みんな40代前半にしか聞こえない。

任意の「始まり」が面白い、、、高橋源一郎「さよなら、ニッポン」

訊問調書が文学に似ている、、、あるいは規範としての自然主義的文学、、、まあこれは、なぜ文学（あるいは小説）から殺人と謎解き＝ミステリーが消えないのか、の理由なわけだけど、かれこれ20年も高橋源一郎は同じ事書き続けているし、こちらも読み続けている。

高橋源一郎「さよなら、ニッポン」、読了。「さよならクリストファー・ロビン」はまたそのうち、、、

柴崎友香『虹色と幸運』<第一章既読、と吉田健一『埋れ木』が待機中だが、前の仕事の後処理と、次の仕事の日程の板挟みで没頭しきれなさが甚だしい。

柴崎は、次の仕事しながら読もうか、、、

間隙縫って読むのは面白くないが、それでも「カテナ」も「たどたどしく声に出して読む歎異抄」も「さよなら、ニッポン」も、こないだまでやっていたことにひどく関連していておもしろかった。

この2日半ほどの虚脱感がやっと抜けた。

アスパラガスが美味かったが、春の季語だった。

柴崎友香『虹色と幸運』、再開。とはいえ、彼女の本は例外的にだったら、途切れながら読んでいいので、（日常生活と作品生活がまじるので、）そのようにする。

先週の嵐をだいたい掌握。

-----2012年06月03日(日)

辛い眠れたが、もう起きた。すでに空はうっすら明るいのだが、、、

しかも仕事が入っていた。

ひと仕事終わり。
アスパラで朝飯食おうと、昨晚決めていたが、腹減ってない。
アスパラ美味し。

アスパラの焦げ目にひときわ青くなり
アスパラの焦げ目の内の甘さとか
衣更え穴のないTシャツを探す

奴が美味い。
奴食う生姜はひと月前のもの

「夏至が近いので、通りはいつまでも真昼の明るさだった。」

柴崎友香『虹色と幸運』P78

今日の仕事（主食）は終わり。

おもろいわ

-----2012年06月04日(月)

昼飯は、まあたまの外食なので、というかたまの外食はいつも
から揚げ（竜田揚げ）定食だったりするわけだが。

といいつつ、ちょっと待ち。

柴崎友香『虹色と幸運』は、3月から一年間の、3人の女性を
描く小説だが、、今8月まで読んで、正直一気に2月まで読み
終わるのがもったいない気がする。

そもそも子持ちにフォーカスがあたること事態柴崎にしては新
鮮だし、なにより悪意に満ちた内面（成瀬巳喜男のような）が
出てきてまるで春樹が目指す「全体小説」への進化のよう、、
柴崎友香『虹色と幸運』、8月お盆まで。これ『細雪』やで。
もったいないので今日はここまでにしよかな、

-----2012年06月05日(火)

結局、ダイアナ・ロスばかりのラジオを聞いていた。

日本の子どもの文学-国際子ども図書館所蔵資料で見る歩み
佐藤さとる（暁）の『だれも知らない小さな国』が見れるらし

い、

そうそう、こない池澤夏樹の『カテナ』を読んでいて、佐藤さとの『わんぱく天国』を思い出したのであった。

姉の本棚からパクった青い鳥文庫の佐藤さとのから、自分で講談社文庫（緑）を買うようになり、そこから村上春樹と村上龍（ともに黄色）の発見につながったのではないかな？

安岡章太郎ルート（角川文庫）、山口瞳ルート（新潮文庫）からは、80年代半ばのふたりの村上へはつながらない気がする、

-----2012年06月06日(水)

『評伝ナンシー関 いつも心にナンシーを』を買ってきた。つまり俺はナンシーの年齢をとうに追い抜き、バカボンのパパに並んだわけだ。

-----2012年06月07日(木)

で、『私のいない高校』青木淳悟を読んでいて、いま修学旅行の朝までなのだが、実はちょっと乗り切れない。ただ「ークラス三列ずつで縦長に展開するのか、（略）まだそれさえははっきり決まらずにいた。」（P119）など、本来ルーティンで描ける描写がまったく依然油断ならない。

面白いのは（俺様的に）、同時に吉田健一『酒肴酒』を読んでいて、こちらが少しルーティンとは違う。父吉田茂と一緒に滞在した青島や済南で食べた中華料理を、彼は料理名（固有名詞）を使わず、知らないことは知らないとして、ゼロから描写している。

-----2012年06月10日(日)

青木淳悟『私のいない高校』（講談社）、読了。結局は面白かった。「不可解」とか「主人公がいない」とか（まあタイトルというコードからそう読み取らせるわけだが）、あまり気にせず、非常にテクニカルな教養（職業＝高校教師）小説であると読めばいいと思える。

海外からの留学生を迎えた高校生活（の約3ヶ月）を描く小説だが、とりわけ修学旅行という日常的でかつ非日常的なイベントのなかでの描写（計画＞実施＞反省）が非常にテクニカル。とはいえその内容は我々通常のワーカーが日々思考し、実行しているのとまったく同じものだ。

例えば広島での自由行動でお好み焼き屋ビルに向かった教師は「そこで複数の生徒の姿を確認することができた。（自分は）三人連れだが生徒側は班員数が最大で八、最小で五名となるから、タクシーであれば二台に分乗してきたものと思われた。」こんなことは営業であれば飲み会のたびに考え、行うことだ。青木淳悟の意外さというのはこんな、文学では本来用いられない、しかし日常生活では一般に使われている言葉を、温度差なく叙述することで、あるいは単純化すれば日本文学（春樹以降が？自然主義が？）が追い求めてきた自意識（ナルシズム）へのアンチテーゼに思えるが、それだけじゃちっとつまらん。ロジック（自分の）展開に、取り立てて構成がなかった。ので、どうしようか。

とりあえず、前からぼんやりと、サラリーマンをもう少し文学（や映画）が拾ってやらないといけないとずっと思っていて、山崎ナオコーラや藤野千夜あたりは惜しいとこなんだろうけど（中場利一は読んだことがない）、そもそも小津をリメイクするなら『早春』だろう、とずっと思っている。

藤野千夜は勘違いかも。

長崎は「どこに目を向けてみても平和への祈りに満ちていた。生徒達はここで学んだことをこれから次の時代に向けてどのように活かしていくのか、それが今後の大きな課題として残された」という記述がどうして”非文学的”にしか見えないのか？

それだけで『私のいない高校』青木淳悟を読む価値はある。まあだから別に、教養小説としては読んでないねんけどねw
保坂のカフカは今日、無理かな。

冷抹茶なう

-----2012年06月11日(月)

いいアイデア浮かんじやった。ので起きてきた。
メモったら寝る。
体重は突然下がる潮目。
卵焼いたら黄身がはじけた。
梅干しのいいところは、目が覚めるところ。

朝ひとつ梅干し背筋の伸びるほど

俳句久しぶりすぎて、直近がいつか忘れた。
では仕事。といっても寝ながら仕事をしていたといっても過言ではない。
仕事は4つほどの異なる作業が詰まっていて、ピリピリしている（同時に神経が活性化しすぎてえらいことになっている）が、合間に畳に横になって読む吉田健一に魅了され続けている。
やっぱりツイッターより吉田健一のがおもしろいね。

朝の梅干しは晩夏の季語やね。

来ぬ夏に迷いを重ねて雲となる

そういえば昔は、なにかっていえば空の俳句しか作ってなかったはずのあたしだけ、もう随分作ってないわね。半年以上じゃない？
「空と単価のことしか考えていない俳人です。」がキャッチフレーズだったはずだが、、
まあ飽きたんやな。
三度の空より空が好き。

-----2012年06月13日(水)

『評伝 ナンシー関 「心に一人のナンシーを」』横田増生（朝日新聞出版）、読了。評伝なのでもちろん「ふーん」以上の感想はない。評伝なのでナンシーから最も遠い常識人が、常識的な尺度＝時系列と因果関係、のみで、常識的な動機＝下衆の勘

ぐり、によって、この消しゴムの巨人を描いている。

『評伝 ナンシー関「心に一人のナンシーを」』 残念なのは、評伝なのであるから、常識的には最も人生を左右する金と女（男）を、作品や人生を読む取る基礎条件として提示すべきであるのだが、どちらもてんでよくわからない。

自分がナンシーチルドレンなのは自覚があったが、読みながら、ナンシーについては初単行本からいきなり購入していることに気づき、どうしてナンシーを好きになったのかずっと考えていたら、「信仰の現場」をスタジオボイスで初めて読んで、その足で単行本を買っていたのだと思い出す。

段ボールを調べればわかるが、実際にはナンシー関はどこかで読む（買う）のを止めている。おそらく1999年あたりで、なんでかって言うと、ナンシーの文章・論旨がほんの少し深くなりすぎていたからなんだけど、評伝には、評伝であるから当然それは書かれてはいなかった。

ていうかナンシー関を論じるのに、「照れ」という概念が一度もでてこないから、センスが悪い。彼女は照れくさいから文章だけを主戦場に、言い訳のように仕事し続けて、医者にも行かずデブのまま死んだんだろうがよ！ 「照れ」は自我のズレを読み取るセンスとして、諸刃の武器であったのだ。

ふた歳の重みに汗の心地よさ

ちょっとお知らせ。ずっと翻訳をしていた本が21日に刊行されます。『台湾海峡一九四九』龍應台（白水社）

台湾に興味がある方は勿論楽しんでいただける歴史ノンフィクションです。戦争、内戦という状況下、名も無き若者が自ら決断しいかに生き抜いたかを描く、家族の物語です。めっぼう面白く、ときどき泣けて、しかも美しい物語です。本屋さんで手にとっていただけたら幸いです。

『台湾海峡一九四九』龍應台（白水社）

白水社の立ち読みページが開設されたら、またご紹介します。
またあらためてじっくり、内容をご説明したいと思います。
ちなみに翻訳中に俳句はありませんが（当たり前や）、広大な
海と大地（台湾と中国その他）の風景描写が堪能できます。
RTなどありがとうございます。宣伝用に別ア力は作ってある
けど、こちらのフォロワーさんは本好きの方が多いので、ほ
どほどに紹介などいたします。
敬語になってまた。

-----2012年06月15日(金)

8月に花火を見に実家へ帰る目標を設定した。（自称90歳のおばあさんに言った。）
やっと仕事が終わった。

-----2012年06月17日(日)

細野さんがロックに燃える！
久しぶりに体ボロボロ。
日本茶入れようとして、お湯を湯呑みに入れて待ってるあいだ
に、そのまま畳で突っ伏して寝てた。
投句添削が返ってきた。本来”ホトトギス有季定型写生かな”
の師匠だが、

◎躑躅^{つっし}咲く埋めつくすよに埋めつくすよに
をとっちゃうところがエライ。

-----2012年06月18日(月)

近所で評判の肉屋のハンバーグを焼いて食た。そら美味かった。
一個200円。
水出し日本茶なう

近所の美味しいショートケーキは買ってあるが、先に仕事。
1個600円。

-----2012年06月19日(火)

さすがにピリピリしてきた、、
緊張してきたので、昼は唐揚げ食いに行くか、、（本文と関係ない）

【新刊】 『台湾海峡一九四九』（龍應台著／天野健太郎訳）本日取次店搬入です。台湾・香港で42万部の大ベストセラー！

痛みを抱えながら暮らしてきた外省人と台湾人の「原点」を、60年が過ぎた今見つめ直す歴史ノンフィクション。詳細・立ち読みは→ 白水社

-----2012年06月21日(木)

傘よりも小さき体鮮やかに
くるくると傘くつついて通い道
三角の傘の窓から話しかけ
傘なんかいらぬシグザグに男子かな

母を追い真っ赤な傘がはねるはねる
母を追い両手でぎゅっと赤い傘
母と子の繋ぎたる手は傘の外

つっても傘が季語なのかどうか、定かじゃない、、

母はどうして故郷を失ったのか？ どうしてうちには祖父母がいないのか？ どうして兄と会えないのか？ 1949年台湾へ逃れて来た母の決断とその後の人生を、母となりし作者が子供に伝える。台湾人の家族をつなぐ物語『台湾海峡一九四九』龍應台（白水社）<http://t.co/vWITqxNg>

もっと台湾（歩道橋の魔術師が帰って来る）@taiwan_about

拙訳、『台湾海峡一九四九』龍應台（白水社）は書店に並んでいる以外、千石の八百コーヒー店と茗荷谷の橙灯に見本を置いていただいています。コーヒーを飲みながら、手にとっていただけたら嬉しいです。

もっと台湾（歩道橋の魔術師が帰って来る）@taiwan_about

-----2012年06月22日(金)

2年ぶりに飛び込み営業した。
伊藤比呂美、どっちか行こうかな、、、
わたしは伊藤比呂美チルドレンである。

いちじく
無花果のジャムとニッカを舐めるよに
秋の季題やけどな。
わたしは森若香織チルドレンである。

—————2012年06月23日(土)

よっしゃ、営業してくる。(台湾料理屋グルメツアーとも言う。)
やあ、ぼちぼち大掃除の季節ですなあ(聴きたいCDがぜんぜん見つからん、、、)

—————2012年06月25日(月)

前にも告知しましたが、拙訳書が刊行されました。
企画提案からだいたい2年強なので、概ねツイッター期間と本書の翻訳期間がかさなります。
いずれにせよおもしろい本なので、興味がありましたら、書店で立ち読みしていただけたら嬉しいです。

『台湾海峡一九四九』龍應台(白水社)は台湾等で42万部を売った歴史ノンフィクションです。1949年、国共内戦で敗れた蒋介石国民党政権(軍)は台湾へ撤退しました。そのとき多くの若き兵士、疎開学生、難民なども台湾へ移ってきまして。まさかそれきり故郷の母と会えなくなるとは知らず……
戦火の中生きるため自ら決断をし、がむしゃらに広大な中国を流浪し、この島まで逃げのびた敗北者(いわゆる外省人)は、その後60年間故郷に戻れない境遇のまま生きました。そしてようやくその子(著者)によって、ずっと隠していた心の傷を書き継がれることとなりました。

『台湾海峡一九四九』

本書は母が子に、1949年当時の若者の決断とその後の壮絶でみじめな漂泊の人生を語り、60年後の帰郷、墓参、和解、

あるいは忘却、哀哭を描いた家族をつなぐ物語です。 『台湾海峡一九四九』 拙訳書宣伝中

ですので台湾好き、歴史好きはもちろん、本好きであれば（とくに近代史を知らなくても）読んでいただける本です。センセーショナルな切り口と、泣かせるリリカルな語り口で、わかりやすく楽しく読める文章です。

『台湾海峡一九四九』 龍應台（白水社）

さらに迎える側にあった台湾人の痛みも描いています。1945年、植民統治から解放してくれる祖国軍を待ちわびていた台湾人は、その後その祖国軍の暴力により血を流します。また同じ頃南太平洋の捕虜収容所には日本兵として戦い、戦犯となった台湾人、先住民族がいました。

『台湾海峡一九四九』

著者は敵味方なく、軍服の色の区別なく、当時戦場にいた日本兵、アメリカ兵、台湾先住民族兵などの若者をやさしく見つめています。また今は「台湾人」となりし人びとも、その来歴や考え方、痛みはそれぞれまったく異なっているのです。

『台湾海峡一九四九』 龍應台（白水社） 拙訳書宣伝中

さすがこんなことしゃべるときは真面目やね。

もし「むむ」と感じたら、書店で立ち読みしてみましよう。ぶ厚い本ですが、1篇1篇単独でも完結しています。時間と海に隔てられた親子の悲しい物語を読むなら第4-5節、少年たちの壮絶な経験を読むなら17節、台湾人の悲哀を読むなら48-9節、がおすすめ。 『台湾海峡一九四九』

俳句クラスタの方には、29、52、56節あたりの風景描写がおすすめです。俳句はありませんが、中国の荒涼たる大地、台湾の木々と大海原、また熱帯雨林のジャングルなどを体験することができます。

『台湾海峡一九四九』（白水社）拙訳書宣伝中

本好き、文学クラスタには、同時代的な感性を持つ海外の文学として読んでいただけます。（堀田善衛が登場。） 映画好きにはユーモラスな会話（第51節ほか）が楽しめます。

『台湾海峡一九四九』（白水社）拙訳書宣伝中

ま、こんなものかな。

いずれにせよ、台湾の人が書いた物語をそのまま楽しむチャンス（書籍）はめったにない（日本の翻訳出版は厳しい時勢）ので、草の根で宣伝していただけると嬉しいです。無論読んでいただけたらもっと嬉しい。

拙訳書『台湾海峡一九四九』龍應台（白水社）

宣伝ツイートしたら、血圧が25上がった。マナラネ

こちらは俳句と自慢と罵詈雑言で今後とも、、、

営業終わり。ごっつ眠い。ごっつ眠い。

—————2012年06月26日(火)

本日の飛び込み営業（台湾料理屋新規開拓4軒目）終わり。

日報書かな。

わぁ！ ザ・ピーナッツ死んだ。ジャズファンや元渋谷系ファンは、迷わず『フィーリン・グッド~ピーナッツの新しい世界』を買って聴くように。ラスト祈り組曲のヴァイブはキレキレやで。知らんやろけど。

恋よさようなら i'll never falling love again/ザ・ピーナッツ『バート・バカラックとザ・ピーナッツ』

恋のおもかげ look of love/ザ・ピーナッツ『バート・バカラックとザ・ピーナッツ』 イントロのオルガンがメロウ、、、

モーニン mornin'/ザ・ピーナッツ『ニュー・ボッサとザ・ピーナッツ』 このグループ感！ 宮川泰編曲である。

祈り組曲（祈りーコンスタント・レイナー君に夢中ーイパネマの少年）/ザ・ピーナッツ『ニュー・ボッサとザ・ピーナッツ』

—————2012年06月27日(水)

以下次号

俳句を送りましょう

投句方法

自分の句が掲載された俳句小冊子『言葉は魔法』を楽しんでください。

次ページの投句用紙に5句を、楷書で丁寧にお書きください。5句以上投句希望の方は裏ページの投句用紙に記入の上、投句してください。添削結果はこの小冊子『言葉は魔法』「俳句ノート」と「添削・句評」欄に発表します。

締切は毎月20日とします。

『言葉は魔法』編集部より

俳句小冊子『言葉は魔法』を編集する私は、何の実績も知識も経験ありません。18歳から25歳までの俳句少年だった頃の夢が、空白の五十年が過ぎた今俳句に対する思いが、膨らんできました。ここにスマートフォンを手掛かりに、無謀と意思つつ発行します。

この小冊子で一緒に俳句を勉強できればと思っています。

添削希望の方は、俳句5句以上10句までを、郵送かFAX かメールで送ってください。添削したみなさんの俳句を発表する場として、小冊子『言葉は魔法』を発行します。

俳句小冊子『言葉は魔法』は税・送料込で1,000円です。

詳しくは本誌裏表紙をご覧ください。

選句、添削は、『言葉は魔法』編集部 天野真次

『郵送』の方は

〒444 - 0053 愛知県岡崎市板屋町190-5

ribbonbooks リボンブックス

『言葉は魔法』編集部 天野真次 宛

『メール』の方は hana-ribon@triton.ocn.ne.jp 宛

『FAX』の方は FAX番号 0564 - 24 - 5825 まで

無料添削投句の宛先

『郵送』の方は

〒444 - 0053

愛知県岡崎市板屋町190-5

リボンブックス

『言葉は魔法』 天野真次 宛

『メール』の方は hana-ribbon@triton.ocn.ne.jp 宛

『FAX』の方は FAX番号 0564 - 24 - 5825 また

添削ご希望の方は、住所・氏名・本誌掲載時の希望併号またはペンネーム・年令をご記入の上、2句以上5句までを、楷書で丁寧に書いてお送りください。

締切は毎月20日です。

あなたの俳句は『言葉は魔法』の「添削・句評欄」に掲載し、その号を郵送します。三か月間（3回分）無料でお試しください。

俳句小冊子『言葉は魔法』
俳句会員募集中

- ・俳句添削会員・1か月1,000円（俳句添削希望の方）
 - ・購読応援会員・2か月1,000円（読者になって応援）
 - ・宣伝応援会員・（無料、宣伝用『言葉は魔法』を送ります）
- お問い合わせ、お申し込みは下記 **発行所** まで
（上記金額は、税込・送料込です）

お試し添削三か月間（3回分）無料始めます

- ・毎月20日締切。三か月間（3回分）無料
- ・ご自分で作った2句以上5句までを思い切って送りましょう。
- ・お試し作者名は、本名、俳号、ペンネームでもOKです。
- ・添削結果は締切にあわせて『言葉は魔法』に掲載し、その号をお送りします。お問い合わせ、お申し込みは下記へ

発行所 TEL 0564 - 24 - 7125 天野

俳句小冊子『言葉は魔法』

発行所

〒444 - 0053

愛知県岡崎市板屋町190-5

ribbonbooks リボンブックス

『言葉は魔法』編集部 天野真次

TEL 0564 - 24 - 7125

FAX 0564 - 24 - 5825

Eメール hana-ribon@triton.ocn.ne.jp

振込先

郵便振替 ゆうちょ銀行

アマノシンジ

〔店名〕二一八〔店番〕218

〔普通預金口座番号〕8785584

（JTBギフト券可）

『言葉は魔法』はRICOHレーザーhorizon製本機の手づくりです。
糊反対面カット製本、上下端はカット無しです。了解ください。

どんな俳句をめざすのか

分かりやすい言葉で

見たまま、感じたままを

5・7・5のリズムを大切に

ribbonbooksリボンブックス
小冊子『言葉は魔法』

